

気っ風のいい情報を発信

# KITA ISHIKARI PUBLICATION

# 1

JANUARY

2020 No.249

謹賀新年

元旦



あけましておめでとうございます。  
【今年の子年です】

 JA北いしかり | 広報誌  
<http://www.ja-kitaishikari.or.jp>



# 恭賀新年

会長理事

佐藤 彰



令和2年の新年を、皆様ご健勝で迎えられるました事と、心よりお慶び申し上げます。昨年中は、農協事業各般にわたりご支援ご協力頂きまして、衷心より厚くお礼申し上げます。本年も、役職員の英知を結集して、事業の推進を図ってまいりますので、組合員の皆様の更なるご支援を宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年5月1日、平成天皇がご退位されるとともに、皇太子様が新天皇にご即位されました。新元号は、万葉集の一文から『令和』と決まり、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ……」という意味が込められているとの事でありました。いつの頃からか、物の豊かさが増すに従って、心の貧しさが

膨らんで来たように思います。心の貧しさは、人間社会を住みづらく疲弊させてしまいます。心を寄せ合い助け合う社会は、国民すべてが願うものであり、そのような平和で優しさ溢れた時代となるよう念願するところです。

今年の干支は十干十二支で言うところ、庚子(かのえね)となります。意味するところは、新たな生命が萌し始める状態であり、新しい事に挑戦するのに適した年とのお事とあります。一般的には、子は動物のネズミを思い浮かべますが、本来は種子の中に新しい生命が芽吹く状態を指し示すそうです。因みに、昨年の農業生産は天候にも恵まれ全般的に平年作となりましたが、農業は人間の力ではどうする事もできない自然環境や天候に左右される生業であります。大地と正直に向き合い最大の営農努力に努めて、今年の干支が意味するような、新しい兆しによる実り多い一年を目指していきますように。

結びに、本年が組合員ご家族にとりまして、災害のない豊かで幸多き一年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

# 謹賀新年

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

会 長	理事	事	佐藤 彰
代 表	理事	組合長	川村 義宏
専 務	理 理	事 事	且見 英和
常 務	理 理	事 事	荒閑 淳一
管理	金融	委員長	野尻 博康
經 済	委 員	委 員	本屋路喜代史
管理	金融	委員長代行	本多 寿典
經 済	委 員	長 代 行	伊豆原信一
理 理	理 理	事 事	湯浅 秀樹
理 理	理 理	事 事	清水 徳幸
理 理	理 理	事 事	藤田 靖
理 理	理 理	事 事	宮本 晃一
理 理	理 理	事 事	小笠原英史
理 理	理 理	事 事	滝本 弘
理 理	理 理	事 事	寺山 広司
代 表	監 監	事 事	阿合 徳秋
常 勤	監 監	事 事	藤澤 寛
		事 事	松本 博美

# 謹賀新年



代表理事組合長

川村 義宏



令和二年を迎えるにあたり皆様にご挨拶申し上げます。また旧年中は、農協事業にご理解ご協力いただいた事に感謝申し上げます。

昨年は春順調に始まりましたが、五月下旬から六月上旬の干ばつ、そして七月下旬からの高温、秋の日照不足の中、秋小麦については十分な収量を得る事ができました。また米については、作況指数が103となりました。大豆については春の干ばつの影響を受けたもののほぼ平年作となりました。ただ花卉と青果物については、干ばつと単価安の影響を受け

残念に思う所です。

農協事業としては、昨年南瓜の共同ライン増強と集出荷貯蔵施設の建設をし、その振興を図ってまいりました。また近年の農業者の高齢化、担い手不足に対し、昨年11月に当別町農業総合支援センターを立ち上げました。そのような状況の中、全体として農産物の収穫高は概ね平年並みとなり、農協の事業計画においても目標を達成する事が出来ました。ここに組合員の皆様のご協力に対して感謝申し上げます。

今後の農協を取り巻く経営環境については、特に金融共済事業の事業利益の確保が困難な状況にあります。今以上に、8次計画にある経済事業を通じた農業振興と、機構改革による組織の効率化と合理化を図ってまいりますので、組合員皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に本年が稔り多き年になる事と、皆様のご多幸をお祈りして新年のご挨拶とします。

監事 笹 賢一

監事 泉 吉満

参事 河村 重樹

企画管理部長 川村 耕一

金融共済部長 長谷川 司

営農販売部長 加来 剛

購買部長 奥村 勇二

西当別支所長 平間 智明

厚田支所長 浜尾 和美

他職員一同

北石狩農業協同組合青年部部长 竹田 伸也

他部員一同

北石狩農業協同組合女性部部长 伊藤百合子

他部員一同

あけましておめでとうございませう

本年も昨年と変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます

本所事務所理容室 店主 小池 曉



## 新年を迎えて

北石狩農協青年部

部長 竹田伸也



新年明けましておめでとうございます。皆様健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年は当青年部活動に対しまして組合員の皆様、ご家族の方々をはじめ役員の方々にもご理解ご協力を頂きました事深くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、大きな自然災害は無かったものの6月の干ばつ等で作物の初期成育に大きく影響を受けた方もいらっしゃったこととします。作況指数も103と若干良い収量ではありましたが、数年・数十年に一度の異常気象が毎年のように発生する中、安定した営農を続けて行く事も大きな課題の一つと考

えております。

このような中、我々青年部は技術・知識を学ぶ事はもちろん人と人の繋がりを大切にし、小さな事でも相談し合える関係を築くため活動を行ってきました。

新人歓迎会やソフトボール大会等では部員間の交流を促進し、役員との交流会では普段なかなか聞けない質問や意見を直接話し合う場を設け、また学習会や視察研修を通じて個人のスキルアップを図りました。この他にも当別ブロック・西当別ブロック独自の活動も行っております。

毎年続けている事業ではありませんが、続けているからこそ年々その成果を実感しているところであります。青年部活動を通じて協同組合の助け合いの精神を学び今後の営農に生かしていきたいと思っております。本年も組合員の皆様、ご家族、役員の方々のご理解・ご協力の程お願い申し上げますとともに、皆様のご健康を心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

## 新年を迎えて

北石狩農協女性部

部長 伊藤百合子



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新春を、ご家族おそろいでお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃より女性部の活動に対しまして、組合員をはじめ役員の方には深いご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

振り返ってみますと昨年は、春は好天に恵まれ農作業も順調に進んだものの、6月7月と少雨に見舞われ水不足が大変心配されました。夏も例年になく気温が高い日々が続く、農作物の生育障害が懸念されるなど、皆様方の農作業も大変だったのではないかと思います。

5月には年号が平成から令和へと変わり、7月には女性部恒例のサクラランボ狩り

を行い、沢山の部員が笑顔で楽しい時間を過ごすことができました。

11月にはJ A北海道女性リーダー研修会・家の光大会が札幌で開催され、全道から女性部代表者550名が一堂に会し、『家の光』記事を活用した体験発表では、6名の方たちが創意と工夫、また、部員同士の交流の様子を発表されました。2日目の手作り工夫店では自慢の手芸品・加工品が展示され、当別ブロックでは部員の皆様で作成したハーバリウムを披露いたしました。また、会場の展示品を見て回りながら、全道の部員の方たちと交流を深めてきました。

私たち女性部はJ Aへの積極的な参加・参画という重要な役割を担っています。部員の高齢化・減少という課題もあります。が、各支部・部員同士の情報交換、地域との交流をより深めて、元気に楽しい活動を続けていきたいと思っております。

本年も組合員・役員の方々のご支援ご協力を宜しくお願い申し上げますとともに、無災害で、豊穰の秋を迎えることが出来そうですようご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



## 令和2年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 飛田 稔章



組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい令和2年の新年を迎えられたものと心より、お慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先に道内各地において強風に見舞われ、広範囲にわたり農業被害が発生し、一部蒔き直しが必要に

なった地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありましたが、天候は順調に推移したことで収穫も進みました。お米の作況指数が104の「やや良」、小麦、てん菜は平年作以上となる結果となり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込まれ、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることができたと感じております。

しかしながら、全国的には8月末に発生した九州北部豪雨や、9月、10月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風15号、19号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援を頂いた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと

考えております。

国際貿易交渉については、昨年2月1日に日EU・EPAが発効となり、日米貿易協定は昨年10月に署名がなされ、国会審議を経て12月4日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では、1,100億円の生産減少額のうち3〜4割が

北海道への影響とみられており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行っております。今後とも動向を注視し、北海道農業が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めてまいります。

さて、JAグループ北海道は、昨年11月12日に第29回JA北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題を、JAグループ

全体で共有すること、内外に実践状況を発信すること目的として、JA北海道大会実践フォーラムを開催したところです。

引き続き、組合員・JA・連合会・中央会が一体となり、大会決議事項の実践に取り組み、基本目標の達成につなげてまいります。

結びになります。今年の子支は庚子（かのえね）です。子には、「ふえる・しげる」の意味があり、種子の中に新しい生命がぎざし始める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、農業にとって輝かしい未来が芽生く年となること、併せて北海道農業並びに組合員、役員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



# 振り返って



株式会社太田花きが主催する「FLOWER OF THE YEAR OTA」において、当別花卉生産組合の「カラー」が優秀賞を受賞しました。本表彰制度においてカラーが入賞したのは史上初です。

## 第20回 北石狩農業協同組合通常総代会



4月12日、本所大ホールにて第20回通常総代会が開催され、議案は原案通りに全て可決されました。JA北海道大会決議事項の着実な実践を通じた自己改革の取り組みに関する特別決議(案)についても、満場一致で承認されました。



4月5日・6日の2日間、本所購買事務所前にて春の農機具展示会を行いました。震災の教訓から発電機のラインナップも充実。特設会場は連日大勢のお客さんが訪れ賑わいを見せていました。



5月9日よりアスパラガスの共選がスタートしました。今年度もメロン、南瓜、キャベツ、馬鈴薯等の共選を行い、JA北いしかり産の青果物が全国各地の市場に向け出荷されました。



7月11日、江別市内で第44回石狩管内肉用牛共進会が行われ、全10部門の内3部門で優秀賞1席をJA北いしかりの生産者が獲得しました。本会でグランドチャンピオンに輝いた「あきはひめ号」は全道共進会で2等1席を獲得しました。



7月18日、女性部本部は毎年の恒例行事である部員交流会を開催しました。当日は天候にも恵まれ、浜益善盛園でさくらんぼ狩りとバーベキューを楽しみ親睦を深めました。



7月22日より、上当別麦ばら調製施設で小麦の受入がスタートしました。今年は例年に比べ出穂揃いから5日程度早く進捗したことに加え、天候の安定が手早い順調に穂水分が低下し、7月20日前後に収穫のピークを迎えました。





青年部各地区では、5月～12月まで小学生を対象に食育活動として農業体験学習を行いました。厚田地区については聚富小中学校の次年度廃校にともない、惜しまれつつも今期が最後の子供農業体験となりました。

# 2019年を



8月27日・28日の2日間、第59回全道JA野球大会が開催され、JA北いしかりチームが2大会ぶり3回目の優勝を果たしました。



8月31日、本所職員駐車場にて「JA北いしかり感謝祭」を開催しました。台風の影響により当初予定日を2週間延期しての開催となりましたが、当別地区を突如襲った記録的短時間豪雨により、安全確保のためプログラムを繰り上げ閉幕しました。



9月19日、さっぽろライスターミナルで令和元年産米の出荷がスタートしました。今年は移植期が平年に比べ3日早まり、活着・初期成育も順調に経過しました。収穫期も早まったものの、降雨により収穫終は4日ほど遅れました。



10月21日、西当別野菜集出荷場敷地内において南瓜集出荷貯蔵施設が竣工しました。送風循環機能を備えた本施設の活用により、7月下旬から11月下旬までの長期出荷体制の確立が可能となります。



11月12日、JAグループ北海道は札幌市内でJA北海道大会実践フォーラムを開催。JA北海道大会で決議した事項の実践事例を発表しました。当JAからも役職員、青年部、女性部の代表者らが出席しました。



11月22日、当別町内で当別町水稻採種組合の設立50周年記念式典と祝賀会が開催され、JAや連合会、行政機関など関係団体から48名が出席。永年勤続役員と歴代事務局に感謝状が贈呈されました。





# JA北いしかり トピックス



## 青年部子ども農業体験学習 〜当別ブロック〜

11月22日、青年部当別ブロックは、当別小学校5年生64名を対象に「豆腐作り」の体験学習を行いました。

春からスタートした子ども農業体験学習も今回で終了。クラス毎に豆腐作りと座学に分かれて学習を行いました。

豆腐作りは、部員が先生となり豆腐が出来るまでの工程を手ほどきしました。児童のほとんどは初めての体験に興味深々の様子で、真剣な眼差しで黙々と作業に取り組んでいました。

座学では、1年間の振り返りと作業機械の動画を視聴し、部員が児童達の質問に回答しました。



豆腐作りの様子

## 青年部子ども農業体験学習 〜西当別ブロック西当別地区〜

12月12日、青年部西当別ブロックでは、西当別小学校3年生36名を対象に今年度3回目の農業体験学習を行いました。

今回は「おにぎり集会」と題して、児童がお米をテーマにしてまとめた、「お米新聞」の発表会が行われました。部員達は「細部までよく調べられている」と児童の発表の内容に感心していました。

発表会の後には、青年部員と児童が秋吉誠貴さんの圃場で収穫された「ゆめぴりか」でおにぎりを作り、一緒に食べて1年間の農業体験学習を締めくくりました。児童たちは「自分たちで作ったお米は、いつも食べているお米より美味しく感じる!」と満足気な様子でした。



お米新聞の発表の様子

## 青年部本部視察研修

12月3日、青年部本部は北広島市のホクサン株式会社にて視察研修を行いました。薬剤などを製造している工場ラインの見学のほか、座学では「小麦赤かび病」の対策や水稲除草剤、アミノ酸を含有する液肥についての説明を受けました。

部員たちは実務に直結する内容とあって、講師の話に真剣に耳を傾けていました。また、実際のフィールドで疑問に感じたり迷ったりする点などについて、積極的に質問する場面も見られました。研修終了後は札幌市内に移動し忘年会を開催。今年1年の活動を振り返りながら、部員相互に労をねぎらいました。



研修を受ける部員達

## 女性部活動紹介

当別ブロックでは12月3日に「ジャム作り」を行い、定番のイチゴの他プルーン、ミニトマト、ハックルベリーなど種類豊富に製作しました。また、10日には西当別ブロックの部員を講師に「セルフ整体講座」を実施しました。

西当別ブロックでは、12月5日〜6日にかけて毎年恒例の「しめ飾り作り」を行いました。ここで作られるしめ飾りは地元西当別をはじめ、本所地区、厚田地区のお客さんにも好評をいただいております。

厚田ブロックでは11月29日に女性部の集いを実施。午前中は石狩市役所職員による「健康作り体操」とケアマネジャーによる「認知症サポーター養成講座」を行い、午後からは当別ブロックの部員を講師に「ハーバリウム作り」を行いました。



ハーバリウム作りの様子



## 令和二年の年頭にあたり

石狩農業改良普及センター石狩北部支所

支所長 **松本 勇**



新年明けましておめでとうございませう。希望を持って迎えた令和元年を無事に送り、新しい年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。また、日頃より普及センターの業務に対し、特段のご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年の作況を振り返りますと、総体的には好天に恵まれ、農作業や作物の生育は順調に推移しましたが、著しい少雨、六月下旬の低温、八月の集中豪雨、収穫時期の長雨など、少なからず各作物の生育や農作業に影響が見られました。

水稲は初期生育が順調であったことから、作況指数一〇三と期待をやや下回ったものの概ね平年以上の収量を確保できました。

小麦は前年秋の適期は種が功を奏し、記録的な少雨であったにもかかわらず、前年産の二倍近い収量を上げました。

他の畑作物や露地野菜等は少雨の影響を受け、出芽不良や移植後の活着不良などにより安定生産にやや支障が出しました。

施設野菜・花き等は高温・乾燥による病害虫や生理障害、市況の変化の影響を受けました。

全体として気象の変化があった中で、

概ね計画を上回る生産量・販売額が確保されたのは、生産者の皆様の細やかな栽培管理とJAの販売努力の結果によるところが大きかったと感じており、関係各位に敬意を表する次第です。

新たな年は、気象変動はもとより、貿易協定の発効等、地域農業を取りまく環境はますます厳しくなることが予想されます。

生産者、関係機関・団体、それぞれが連携して、これまでの状況の分析、これからの展開を思い描きながら、力強い地域農業を推進していく必要があります。

普及センターでは、気象条件に左右されない基盤づくりと基本技術に裏打ちされた足腰の強い農業経営の推進を支援していきます。また、地域の担い手を確保するため、当別町4日クラブをはじめとする若手農業者の学習支援を進めていく所存であります。

今後とも、農業者及び関係機関・団体のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本年も天候に恵まれ、豊穰の秋を迎えることを祈念し新年にあたってのご挨拶といたします。

《購買部門》

### ご案内

## 令和2年1月31日(決算棚卸日)の営業時間変更について

組合員の皆様方には、日頃より購買事業に対し特段の御理解と御利用を頂き厚く、お礼申し上げます。

つきましては、令和2年1月31日の営業を下記の通りとする事と致しましたので、何卒、ご理解をお願い致します。

**令和2年1月31日(金) 午後休業(12時迄営業)**

**該当部署…本所・支所・事業所 生産資材部門・農機部門**



## 技術の見直しで災害に強い農業生産を！

昨年は、低温・日照不足・多雨などに起因する気象災害に見舞われ、各作物とも平年作を下回りました。しかし、その中でも平年作の生産実績を上げた事例が各地で報告されています。減収した原因は何か？どのような対策が有効か？

気象災害に負けない強い農業生産について改めて考えてみましょう。

### 1 水稻

減収要因	①6月の低温・日照不足による莖数不足・生育遅延
改善対策	①側条窒素増肥（窒素4kg/10a以上）による初期生育の促進 ・施肥例（10a当たり）：全層 BB832 30kg(N2.4) +側条 093(N20%) 20kg(N4.0) 気象条件に合わせた、きめ細かい水管理による莖数管理

### 2 秋まき小麦

減収要因	①降雨や前作物の遅れによるは種遅れ ②砕土・整地不良による出芽率低下やバラツキ 湿害による根張り不良・生育ムラ ③土壌の低pHによる生育不良
改善対策	①適期は種を目指した輪作体系の確立 ・適期は種するために：前作の水稻は収穫が遅れないよう多肥栽培を避ける ：大豆間作を積極的に導入する ②天候に左右されない排水良好なほ場づくり ・明暗きよ・心土破碎・溝切り施工 ・土壌水分に合わせた、耕起・砕土の適期作業 ③土壌診断結果に基づく石灰資材の投入

### 3 大豆

減収要因	①砕土・整地不良による出芽率低下やバラツキ 湿害による根張り・生育不良 ②土壌の低pHによる生育不良 ③風害による莖葉の損傷
改善対策	①天候に左右されない排水良好なほ場づくり（小麦と同様） ②土壌診断結果に基づく石灰資材の投入

昨年の反省を活かして飛躍の年に！



# なんでも掲示板

■今年も、もう少なくなりました。正月は何か作ろうか。きれいに重箱に入っているおせち料理のチラシがどこの店にも貼ってあり、頼んだら作らなくてもいいし楽だろうな。

(当別町 菊池 サカエさん)

■秋に収穫しておいた小豆であんこを作りました。子供が白玉団子を作るのが好きなので、美味しいおしるこを食べられるのが楽しみです。

(ペンネーム ポコポコさん)

■楽しく拝見しています。

(兵庫県 手川 綾子さん)

■JAさん、1年間クロスワードパズルに楽しく参加させていただき、ありがとうございました。早いものでまた、新しい年を迎えることとなりますが、皆様にとりまして素敵な、ハッピーな年であってほしいと心よ

り願っております。

(当別町 岩田 美智子さん)

■先日(9月)、旅行中に「はなポッケ」に立ち寄りました。なにを買おうか迷っていると「旅行者?これ美味しいよ～」と親切なお客さん。北海道の旅行でおもいかけず楽しい思い出になりました。遠くてなかなか行けませんが、すてきな街、すてきな人達のいる当別町が大好きです。Webで広報誌拝見しています。

(石川県 西村 美帆さん)

■気温差が大きく、カゼをひいてしまいました。

(神奈川県 藤井 淑江さん)

■コールドムーンがとってもきれいです。

(ペンネーム ひなたさん)

■今年は脚立から落ちて怪我を

するは、転んで打撲で通院するは、しめくりに煎餅をかじって歯が欠けてしまい歯医者通いとなりました。このまま何事もなく新年を迎えたいところです。

(ペンネーム しろくまさん)

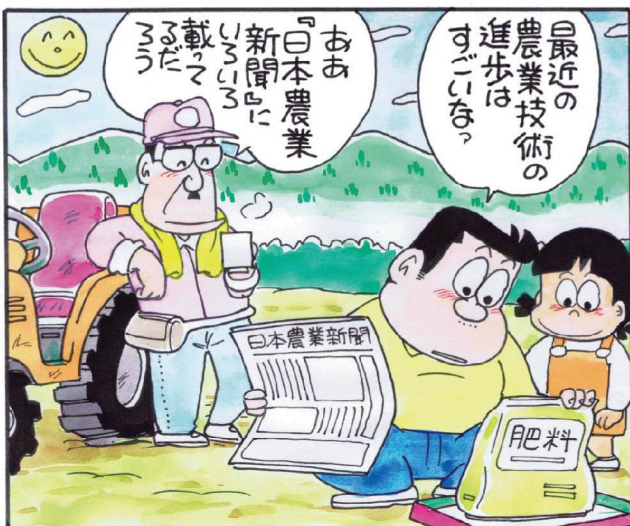
■今年は寒かったり日照りが続いたり、風が強かったりで、作物を育てるにはあまり良い天候ではなかったです。新年は、穏やかな天候になるように願います。

(ペンネーム マ姉さん)

■早いものですね。令和元年もあと2週間位。2020年いよいよオリンピック、日本中賑わいますね。楽しみです。

(当別町 山田 穂波さん)

ここに寄せられたお便りの住所・氏名・年齢などの個人情報、この広報誌以外で使用することはありません。



## 担い手に役立つ 営農技術や流通 盛りだくさん

購読のお申し込みはJAへ

購読料 1ヵ月2,520円(税込)

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS  

**日本農業新聞**  
<http://www.agrnews.co.jp>

協同の輪を広げ 自己改革を進めよう JAグループ情報共有運動

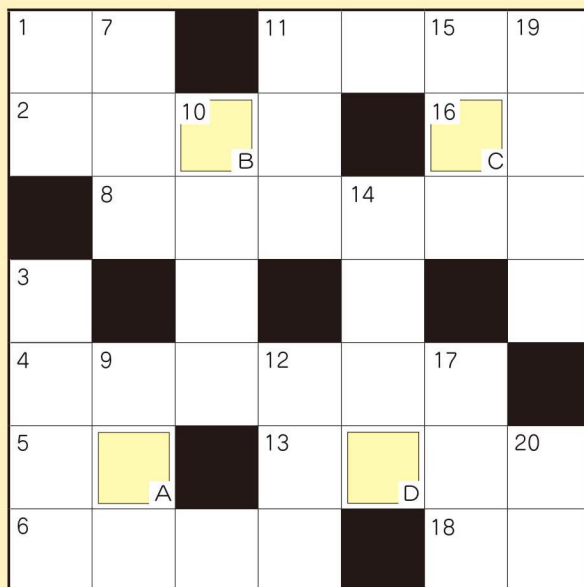


# クロスワードパズル

二重マスの文字を  
A～Dの順に並べてできる  
言葉はなんでしょう？

## タテのカギ

- 1 ……「生まれ」を表す信号の色
- 3 ……真つすぐ帰らずに食います
- 7 ……細かく縫い目を入れて布を丈夫にします
- 9 ……突破して決勝に進みます
- 10 ……太いへびのような姿の幻の生き物
- 11 ……山奥で―― 離れた生活を送る
- 12 ……紅茶に切って入れたり唐揚げに搾って掛けたり
- 14 ……オーストリアの首都
- 15 ……水とは混ざり合いにくい
- 17 ……バケツやマグカップの持つところ
- 19 ……スキーをするための場所
- 20 ……セイウチの口からよっきり



## ヨコのカギ

- 1 ……太陽が東から昇る時分
- 2 ……空気の乾燥を防ぐ電化製品
- 4 ……バレンタインデーに贈ります
- 5 ……ないようでも七つあるとか
- 6 ……鳥取県や島根県がある地方
- 8 ……開店祝いなどで贈られる高級な花
- 11 ……種子島でロケットの―― を見学した
- 13 ……―― 羽織にはかまの姿で高砂の席に座る新郎
- 16 ……手――の補正機能が付いたカメラ
- 18 ……鶏肉の部位の一つ

## 1月号の答え・当選者



今回13名の応募の中から、抽選の結果次の3名の方が  
当選しました。おめでとうございます。  
当別町 山田 穂波さん  
石川県 西村 美帆さん  
ペンネーム しろくまささん

郵便はがき  
〒061-0295  
52 JA 石狩郡当別町  
北 錦町53番地57  
総務企画課 行

- ①パズルのこたえ
- ②〒・住所・電話番号
- ③氏名
- ④年齢
- ⑤意見や要望、身近にあった出来事などの情報をお寄せ下さい。紹介させていただきます。

### 【応募方法】

- 氏名や住所を伏せたい場合は、その旨ご記入願います。
  - ファックス・Eメールによる応募も受付いたします。
- FAX：(0133)22-2615  
Eメールアドレス：kanri03@ja-kitaishikari.or.jp

### 【締切日】

令和2年1月24日(金) 到着分まで

### 【賞品】

正解者の中から抽選で3名の方へ約2000円相当の当JA加工品の詰め合わせをさしあげます。



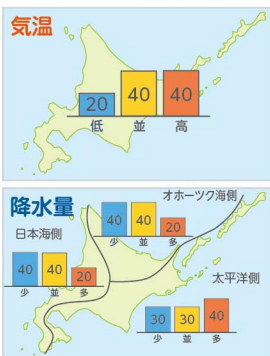
## 北海道地方の気温・降水量 2か月予報

### 月別の予想

### 1月

冬型の気圧配置は平年より弱い見込みです。日本海側・オホーツク海側では、平年に比べ曇りや雪の日が少ないでしょう。太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

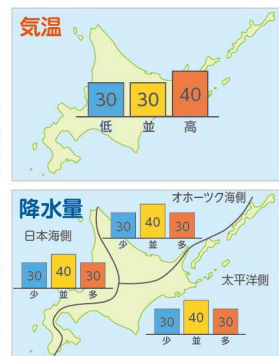
平年の日数	晴れ	降水
札幌(日本海側)	11.6	18.1
網走(オホーツク海側)	15.4	12.9
釧路(太平洋側)	23.4	5.0



### 2月

冬型の気圧配置の強さはほぼ平年と同様の見込みです。日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。オホーツク海側・太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平年の日数	晴れ	降水
札幌(日本海側)	12.1	16.0
網走(オホーツク海側)	17.1	8.6
釧路(太平洋側)	21.5	4.0



(晴れ日数：日照率が40%以上の日数 降水日数：日降水量が1mm以上の日数)



〈第12回理事会〉

12月16日午後2時より、本所第1会議室にて開催されました。

Ⅰ. 監事監査報告

Ⅱ. 議事

議案第1号 農地保有合理化促進事業参加申込について  
 議案第2号 組合員の出資持分譲渡並びに出資口数の減少について  
 議案第3号 年末手当の支給について

Ⅲ. 報告事項

- 報告事項(1) 各事業報告及び財務報告並びに仮決算報告(令和1年11月末)
- 報告事項(2) 不良債権先への編入について
- 報告事項(3) 固定資産取得について
- 報告事項(4) 内部監査報告について
- 報告事項(5) 組合員の加入・脱退について
- 報告事項(6) 職員人事報告
- 報告事項(7) 令和元年度さつぼろライスターミナル収支見込について
- 報告事項(8) 平成30年産米穀の全道共同計算の精算結果の報告について



## 組合員資格確認のお願い

当JA定款規程により、組合員加入申込時の提出書類記載事項に変更があった場合や、組合員資格に変動等があった場合は、その旨を届けていただくことになっています。

つきましては、組合員資格・氏名・住所・電話番号等の届出事項に変更・修正があった場合は、当JA本所・総務企画課、または各支所・管理金融課および事業所へお申し出いただきますようお願い致します。

### 当組合員の組合員資格

#### ○正組合員資格○

(1) 30アール以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

(2) 1年のうち120日以上農業に従事する個人であって、その住所又はその従事する農業に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

(3) 農業を営む法人(その常時使用する従業員数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。)であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

#### ○准組合員資格○

(1) この組合の地区内に住所を有する個人で、この組合の事業を利用することが適当と認められるもの

(2) この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの

(3) この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区外に住所を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの

※当組合の地区は、札幌市、石狩郡当別町、石狩市厚田区及び浜益区の区域です。



**NEW!**

新登場!

ご契約のお車が初度登録の翌月から **49か月以内**のご契約者様へご案内

※共済期間12か月かつ責任始期日時点

JAの自動車共済

# 車両新価保障特約

車両新価保障ってどんな保障?



ご契約のお車に大きな事故による損害が発生した場合に、新車に買い替える費用を保障いたします!



例えば

200万円の新車を購入し、その2年後に自損事故を起こしてしまい、修理費用は100万円かかると言われました…(事故時点での車両共済金額=時価額は140万円)

車両新価保障特約が付いていない場合

お車の修理費用として、**車両共済金100万円**を受け取れます。



車両新価保障特約が付いている場合

新車に買い替える費用として、**200万円**を受け取れます!



保障のイメージ

登録1年目	登録2年目	登録3年目	登録4年目	登録5年目
車両共済金額 (新車相当額) <b>200万円</b>	車両共済金額 (時価額) <b>160万円</b> 差額金額 <b>40万円</b>	車両共済金額 (時価額) <b>140万円</b> 差額金額 <b>60万円</b>	車両共済金額 (時価額) <b>125万円</b> 差額金額 <b>75万円</b>	車両共済金額 (時価額) <b>110万円</b> 差額金額 <b>90万円</b>

新車価格相当額(新価)と車両共済金額(時価)との差額部分を保障します!

こんな時にお支払いします!

- 以下の所定の全損時にお支払いします。
  - 修理不能となった場合 ●修理費が車両共済金額(価額)以上になった場合
  - 修理費が新車価格相当額の50%以上になった場合
- ※ご契約のお車の内外装・外板部品以外の部分に著しい損傷が生じた場合に限りです

特約を付加いただける条件

- 以下のいずれかを満たす場合など特約の付加には所定の条件があります。
- 共済期間の末日が、ご契約のお車の初度登録(検査)の翌月から61か月以内であること
- 車両共済金額(価額)が新車価格相当額の50%以上に相当する額であること



大切な新車のお守りに、車両新価保障特約をご検討ください!

ご契約のお車が初度登録の翌月から **49か月を超える**ご契約者様は裏面をチェック!!

※共済期間12か月かつ責任始期日時点





ご契約のお車が  
初度登録の翌月から  
**49か月を超える**  
ご契約者様は  
こちらをチェック!!

※共済期間12か月かつ責任始期日時点

お車を長く乗られる方にもご安心を

# 車両超過修理費用 保障特約のご案内

## お車の保障について



お車は購入後、使用年数や走行距離などによって購入時よりも価値が下がります。この**現在のお車の価値のことを「時価額」といいます**。お車の保障のご契約にあたっては、この**時価額をもとに車両共済金額を設定します**。車両共済金のお支払いは車両共済金額を上限にお支払いするため、事故時の修理費用が車両共済金額を超える場合は十分に共済金をお支払いできないケースがございました…



**事故時の修理費が車両共済金額(時価額)を超える場合でも、超過する修理費用について50万円を上限額にお支払いします。\***  
ですから、長くお車を乗られる方にもご安心いただけます。

※原則として事故が起きた日の翌日から6か月以内にご契約のお車を修理する場合に限りです



## 例えば

車両共済金額(価額)60万円のお車が事故で破損し修理費が90万円かった場合

車両超過修理費用保障特約が**付いていない**場合…

車両共済金額 **60万円**      差額金額 **30万円**



車両超過修理費用保障特約が**付いている**場合!

車両共済金額 **90万円**



この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

詳しくはお近くのJA(または担当者)にお問い合わせください。

[19019990071]

お問い合わせは

**JA北いしかり**

本 所 ☎0133-23-2563  
西当別支所 ☎0133-26-2111  
厚田支所 ☎0133-77-2311





北海道の食と農の情報いっぱい。

# JA²MP [ジェイエイ・ジャンプ] を使ってみよう

JA²MPとは?

JAグループ北海道が送る、北海道産農畜産物と出会う情報アプリです。アプリと一緒に出かけをして、実際に訪れた関連施設でチェックインをすれば、チェックインポイントをゲット! たまったポイントでプレゼントキャンペーンに応募すれば、抽選でおいしい北海道の農畜産物も当たります。

まずはダウンロード!



App Store からダウンロード Google Play でダウンロード

## JA²MPって何ができるの?

JAグループ北海道の直売所にチェックイン  
旬でお得な農畜産物情報を毎日チェック

集めて楽しい  
ポイント  
ラリーも!

チェックイン  
スポット  
ラリー

オススメ  
農畜産物  
情報

今月の  
特集

お知らせ

直売所やイベント会場など、JAグループ北海道の関連施設でチェックインポイントを集めて、豪華景品が当たるプレゼント抽選会に応募しよう。

主なチェックインスポット: 直売所, ガソリンスタンド, JAバンクATM, Aコープ, JAグループ主催イベントなど

はじめてチェックインした施設なら1,000ポイントがもらえます!

### オススメ農畜産物



全道各地にあるJAの直売所から、旬の野菜や地域の特産品などの情報をタイムリーに発信します。直売所で、どんな農畜産物が売られているかを簡単に調べることができます。そこでしか手に入りにくい、珍しい農畜産物をチェックして直売所へ行こう。直売所までの道のりもナビゲートします。

### チェックインスポットを探す

全道各地にあるJAグループ北海道の関連施設にチェックインすると、ポイントが貯まります。

### 特集一覧

テーマに沿って、食と農に関する情報を毎月更新。季節の楽しい農業イベントなどを紹介します。珍しい野菜や農畜産物がどのように作られているかを学ぼう! 北海道農業の豆知識が満載。記事からチェックインして、紹介された農畜産物を買っているJA直売所へ行こう!

## 北海道のおいしい農畜産物を年間550人にプレゼント

プレゼント抽選会 応募期間 ①6月~7月 ②12月~1月(予定)

特選コース	10,000ポイント	3名様
プラチナコース	5,000ポイント	25名様
ゴールドコース	3,000ポイント	50名様
ブロンズコース	2,000ポイント	200名様

10,000ポイントで応募♪ 5,000ポイントで応募♪ 2,000ポイントで応募♪



※写真に抽選会の賞品の一例です。